

連続
フォーラム

地域課題からみた学校教育の将来像

アントロポセン

人新世の時代の新しい
見方・考え方を求めて

講師 京都大学・総合生存学館准教授

しの はら まさ たけ
篠原 雅武

先生



日時

2022年 2月10日(木)

14:00~16:30

※タイムスケジュール等、詳細は裏面をご覧ください。



参加無料

場所

ZOOMによるオンライン配信・録画配信

申込
方法

- 電子メール 表題を「篠原先生講演申込」とし、本文に「お名前、ご所属、連絡先(メールアドレス)」を記載の上、下記まで送付してください。
- 申込・問合せ先 上越教育大学教科内容先端研究センター……メール:kyoka-cen@juen.ac.jp

上越教育大学・教科内容先端研究センターでは、グローバル時代の知識基盤社会にふさわしい、次世代の学校教科の内容について研究・開発を行っています。このたび、地域の課題解決に貢献する教科内容を考えるため、連続フォーラムを開催します。

今回は、京都大学総合生存学館准教授の篠原雅武さんを講師にお招きします。今日、自然科学の領域では、温暖化、異常気象、海面上昇といったエコロジカルな事態が人間生活に対し危機的な影響を及ぼすという見通しが出されています。それは、人間の条件という哲学的な問題の再考を迫るものといえます。篠原先生は、自然科学で示されている現実像を、人文学とりわけ哲学的な思考の根本における変容を迫るものとして受けとめ、人間の条件をめぐる世界観を新しく描き出すことを目指して、自然科学から学びつつ、建築家や都市プランナーなどの実践家とも共同して学際的能力が不可欠であると考えるなかで、人類が地球の生態系に重大な影響を与える新しい地質年代である人新世（アントロポセン）についての最先端の研究に取り組んできました。篠原先生のご研究は、『日本経済新聞』のシリーズ「令和の知をひらく」でも取りあげられています。そこで、篠原先生に、21世紀における人間社会と自然との新しいあり方へのビジョンの観点から、今後の地域社会や学校教育、その内容のあるべき姿について講演していただき、地域の具体的な地域課題に取り組んでいる学生・教員、地域住民、公益事業者等との意見交換をおこないたいと思います。

地域の自然や生態系の教育に携わる方々、人文社会系教科と自然科学系教科との連携・横断に関心のある方々はもちろん、21世紀の人類と地球の未来について関心の方々のご参加を広くお待ちしております。

タイムスケジュール

TIME SCHEDULE

13:30～	参加受付の開始
14:00～14:10	開会あいさつ・趣旨説明
14:10～15:40	篠原雅武先生の講演「 ^{アントロポセン} 人新世の時代の新しい見方・考え方を求めて」
15:40～15:50	休憩（10分）
15:50～16:30	意見交換 ^{アントロポセン} 人新世の時代の新しい見方・考え方を求めて

PROFILE

しの はら まさ たけ
講師 篠原 雅武 先生

1975年生まれ。京都大学総合人間学部卒業。京都大学大学院人間・環境学研究科博士課程修了。博士（人間・環境学）。哲学、環境人文学。現在、京都大学大学院総合生存学館（思修館）特定准教授。単著書に『公共空間の政治理論』（人文書院、2007年）、『空間のために』（以文社、2011年）、『全一生活論』（以文社、2012年）、『生きられたニュータウン』（青土社、2015年）、『複数性のエコロジー』（以文社、2016年）、『人新世の哲学』（人文書院、2018年）、『「人間以後」の哲学』（講談社選書メチエ、2020年）。主な翻訳書として『社会の新たな哲学』（マヌエル・デランダ著、人文書院、2015年）、『自然なきエコロジー』（ティモシー・モートン著、以文社、2018年）。

申込・問合せ先

上越教育大学教科内容先端研究センター
メール：kyoka-cen@juen.ac.jp

